

補助のみ ごみ集積場 は理積

問

高額を集積場修理に補助金は
出せないのか

答

現在ごみ集積場への補助は
考えていない



篠崎 聡 議員



質問者の録画映像
はこちらから

質問1

ごみ集積場の形態は様々で、露地にネットをかけた物から立派な小屋型のものがある。それらが、経年劣化や外的要因によって破損した場合、修理にお金を出しているのは利用者の方々である。高額な修理費用がかかった場合、町が一部を助成出来ないか。

副町長

ごみ集積場は、町内全体で349か所あります。ごみ集積場につきましては、利用者の方々に協力して維持管



長持ちするように

理していただいております。小屋型のごみ集積場は、自治会費やコミュニティ事業等にて整備をしていただき住民の方々にご負担していただいているところです。今後、少子高齢化、人口減少が進行する中、個別回収の充実、分別収集体制の見直しを内部で検討して参ります。素案が出来次第お示ししていきますので、住民の方々に

現時点は維持管理をお願いいたします。

質問2

コミュニティ事業とはどのようなものか。

住民課長

宝くじを活用した助成事業です。現在、小屋型の設置については、助成の対象外になっています。

池田暮らしの七か条

- 第1条 集落の一員であること、池田町民であることを自覚してください。
- 第2条 総人口の少ない池田町ではありますが、私たちは33の集落において相互扶助を土台に安全で豊かな共同社会を目指しています。
- 第3条 参加、出役を求められる地域行事の多さとともに、都市にはなかった面箇での存在を自覚し協力してください。
- 第4条 池田町の風景や生活環境の保全、祭りなどの文化の保存は、集落毎に行われる共同作業や集落独自の活動によって支えられています。共同して暮らしを守るためにも参加協力ください。
- 第5条 草刈り機は必需品です。回を重ね使い込むことで技術上達が図れます。
- 第6条 このことを「面倒だ」「うっとうしい」と思う方は、池田暮らしは難しいです。
- 第7条 集落は小さな共同社会であり、支え合いの多くの習慣があることを理解してください。
- 第8条 生活の基盤は集落であり、長い年月に渡って様々な行事や集まりを通して暮らしを支えてきました。
- 第9条 今までの自己価値観を押し付けないこと。また都会暮らしを地域に押し付けないよう心掛けてください。
- 第10条 集落での生活は、ご近所などとの密な暮らしの日々があります。都市では見られなかったルールや仕組みもありますが、皆で折り合いを付けながら培ってきたものです。
- 第11条 これまでの都市暮らしと違うからといって都会風を吹かさないよう心掛けてください。
- 第12条 プライバシーが無いと感じるお節介があること、また多くの人々の注目と品定めがなされていることを自覚してください。
- 第13条 どのような地域でも、共同体の中に初顔の方が入ってくれば不安に感じるものであり「どんな人か、何をやる人か、どうして池田に」と品定めされることは自然です。
- 第14条 干渉、お節介と思われるかも知れませんが、仲間入りへの愛情表現とご理解ください。
- 第15条 集落や地域においての、濃い人間関係を積極的に楽しむ姿勢を持ってください。
- 第16条 静かでのどかな池田町ならではの面白さとして、ご近所や色々な出会いの中での会話を楽しんでください。
- 第17条 時として自然は脅威となることを自覚してください。特に大雪は暮らしに多大な影響を与えます。ご近所の助け合いを心掛けてください。
- 第18条 池田町は2004年の福井県豪雨災害で大きな被害を受けて以来、集落防災隊長を設置し地域防災力を高める取り組みを推進しています。
- 第19条 また、池田町には「雪で争うな、春になれば恨みだけが残る」という教えがあります。積雪時、大雪時の譲り合い、助け合いを心掛けてください。

田舎暮らしって

田舎暮らし 七か条を

答

問

田舎暮らし七か条の
制定をしてみても
現時点での七か条の
制定は考えていない

質問

福井県池田町の田舎暮らし七か条という取り組みを、当町でも似たように出来ないか。

副町長

福井県の池田町の田舎暮らし七か条は、池田町の区長会が作成し

たもので、表現が適切と批判的な報道もされております。池田町に暮らして、こんなはずではなかったと言うことを防ぐ思いから作られたものです。当町では、田舎暮らし七か条のような発信は行わない方針です。